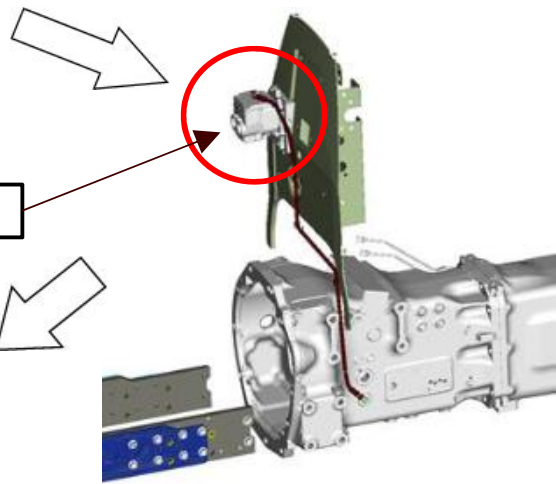
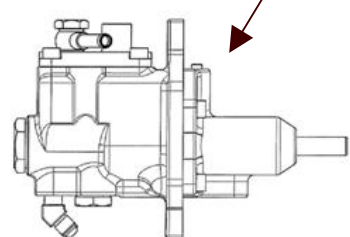


改善箇所説明図

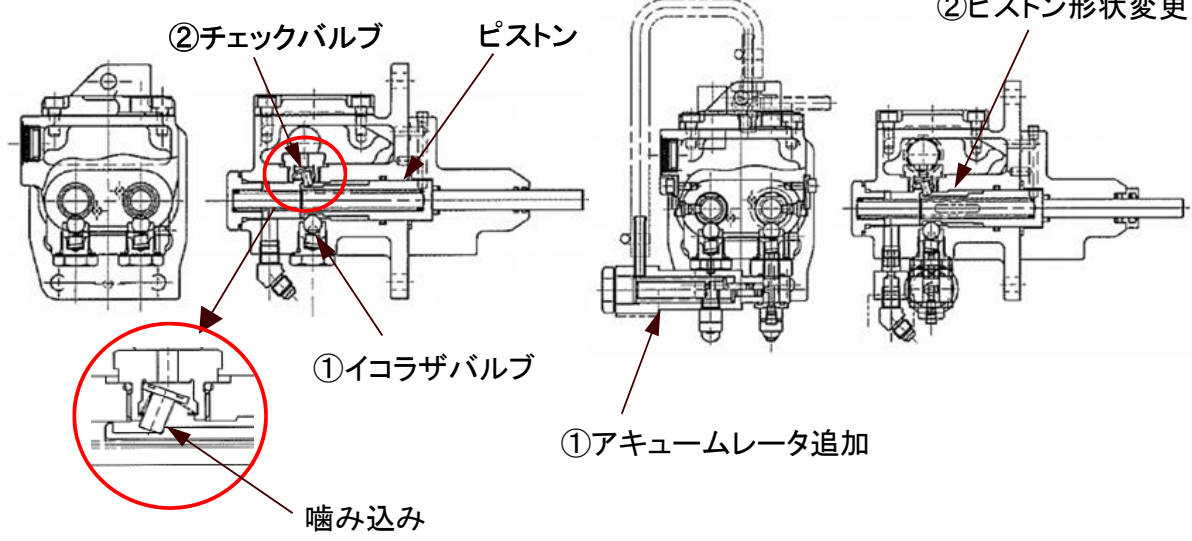


ブレーキバルブ



改善前

改善後



不具合発生箇所

- 農耕トラクタの制動装置において、ブレーキバルブの構造が不適切なため、
- ①イコライザバルブ内に圧力が残る場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキバルブ内の油温上昇に伴い、イコライザバルブ内に残った圧力が高くなり、最悪の場合、ブレーキペダルを踏み込めなくなる。
 - ②ポンピングブレーキをした際の圧力変動により、チェックバルブとピストンが干渉することがある。そのため、チェックバルブとピストンが噛み込みブレーキペダルが戻り不良となり、最悪の場合、ブレーキがロックすることがある。

改善内容

全車両、ブレーキバルブを対策品に交換する。

は、交換部品を示す。

識別

ブレーキバルブ形状にて判別する